

中期経営計画2025

 中越パルプ工業株式会社

1. 中期経営計画 概要

1-①. 経営理念と情勢把握

1-②. 目指す姿と中期経営計画2025

1-③. 経営目標

2. 中期経営計画2025 取組み

3. 投資計画及びキャッシュフロー

4. 事業ポートフォリオ・収益計画

1-①. 経営理念と情勢把握

経営理念

- 愛され信頼される企業に
- 環境と社会に貢献する企業に
- 向上心あふれる働き甲斐のある会社に

当社を取り巻く環境

- 製紙業界の抱える構造的問題
 - ー デジタル化、少子化に伴う需要の減少
- 新型コロナウイルス感染症拡大影響
 - ー ライフスタイルの変化、衛生意識の高まり
- カーボンニュートラル社会実現への対応
 - ー 新エネルギー基本計画への対応
 - 脱プラ・脱化石燃料ニーズの高まり
 - 環境保全、リサイクル意識の高まり

2030年に目指す姿は？

1-②. 目指す姿と中期経営計画2025

ビジョン2030

2030年に目指す姿

既存事業の発展・環境ビジネスの発展・イノベーションにより、森林資源の有効活用を通じた循環型社会の構築と持続可能な未来を実現する

達成の為 2025年までにやるべきこと

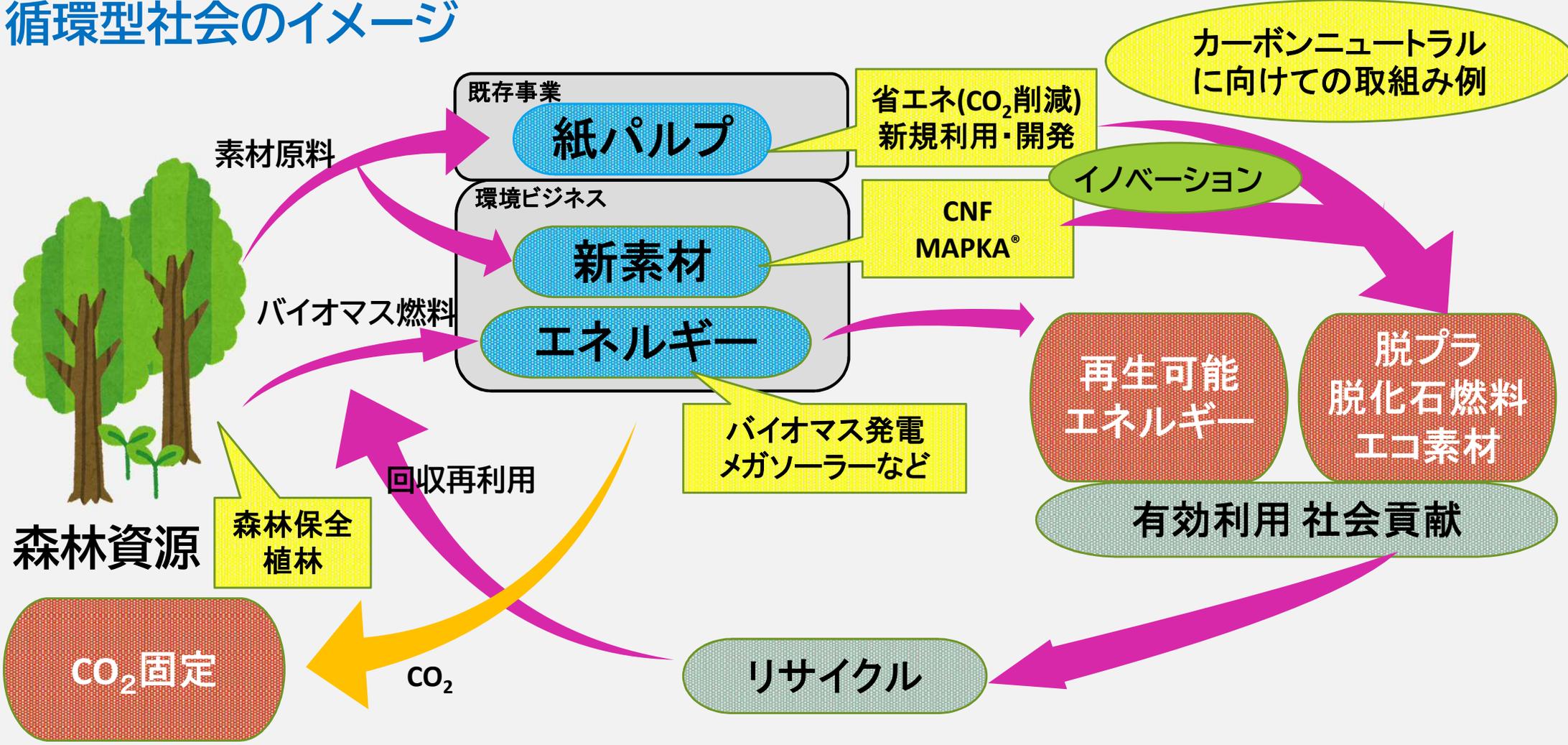
持続可能な企業
循環型社会の構築

中期経営計画2025

- ① 既存事業の構造転換 (紙に占めるグラフィック用紙の比率減 75→60%)
 - (1) 紙パルプ事業の生産体制再構築
 - (2) グループ関係会社事業の選択と集中による収益力強化
- ② 森林資源を活用した環境投資・環境ビジネス推進

1-②. 目指す姿と中期経営計画2025

循環型社会のイメージ



1-③. 経営目標

<2025年度 収益目標>

	2020年度 (実績)	2025年度 (目標)	差異
営業利益	▲3億円	40億円	43億円
ROE	—	5%以上	—

<2030年度 環境目標>

カーボンニュートラル社会の実現に向けて、製造工程における化石燃料由来のCO₂排出量を2030年度までに2013年度比50%削減する。

2. 中期経営計画2025 取組み

① 既存事業の構造転換

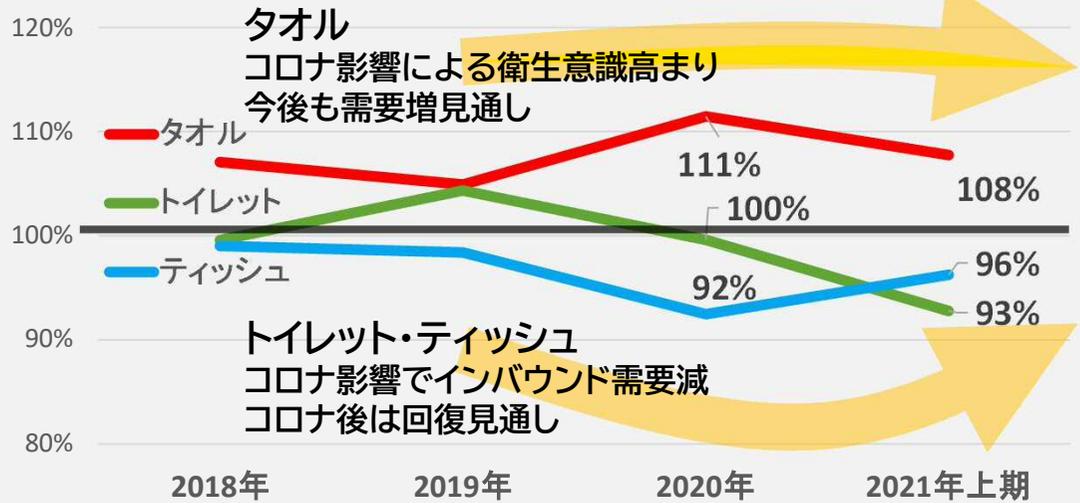
国内の紙需要

グラフィック用紙の減少 堅調な家庭紙

国内需要	2019年	2020年	2021年	2025年
前年比	実績	実績	予測	当社予測
印刷用紙	96%	83%	101%	85%
新聞用紙	92%	87%	95%	75%
衛生用紙 (家庭紙)	104%	100%	101%	103%

(実績・予測は製紙連合会公表値)

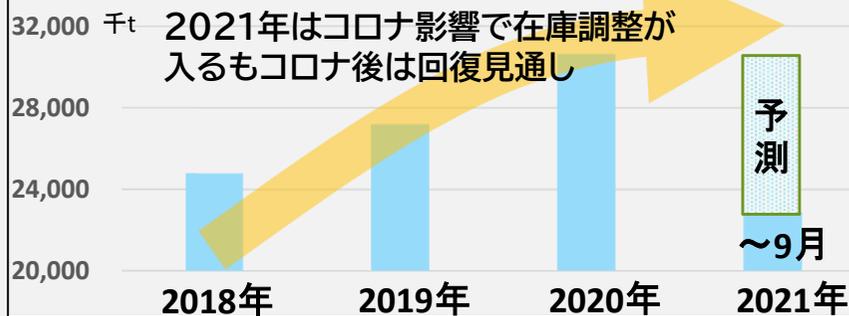
家庭紙国内出荷前年比推移(対前年(%))



※経済産業省生産動態統計参照

中国のパルプ需要

中国のパルプ輸入量(通関統計)



家庭紙輸入量(2020年)

家庭紙製品
(加工前原紙含む)

約22万t/年

※財務省貿易統計参照



2. 中期経営計画2025 取組み

①既存事業の構造転換

取組み

①-(1)紙パルプ事業の生産体制再構築

【紙に占めるグラフィック用紙比率目標:75%(2020年度)→60%(2025年度)】

(1)- I .高岡工場 6号マシン停機 ※詳細P7

(1)- II .家庭紙マシン新設(検討) ※詳細P8

(1)- III .事業領域拡大

- ・紙需要減少に対応する為の製品パルプ増産
- ・グラフィック用紙減少を補う為の新規利用・開発

①-(2)グループ関係会社事業の選択と集中による収益力強化 ※詳細P9

(2)- I .三善製紙 他社商権の譲受

(2)- II .文運堂 文具事業の整理



2. 中期経営計画2025 取組み

①既存事業の構造転換 (1)紙パルプ事業再構築

取組み(1)- I	
テーマ	高岡工場 6号マシン停機
プラン	6号マシンを停機し、生産体制の最適化を行う (2022年9月末停機予定)
ポイント	<ul style="list-style-type: none">・生産集約による効率化、省エネ効果・製品パルプの増産
備考	6号抄紙機 生產品種 : 印刷情報用紙・包装用紙 生産能力 : 255t/日

2. 中期経営計画2025 取組み

①既存事業の構造転換 (1)紙パルプ事業再構築

取組み(1)-II	
テーマ	家庭紙マシン新設(検討)
プラン	・高岡工場に家庭紙マシンを新設する (2023年12月稼働予定)
ポイント	・印刷情報用紙需要減少への対応として、成長分野への投資による生産・収益の安定化 ・停機マシンの遊休設備の活用による導入コストの低減
備考	生産予定品種 : ティッシュ・タオル・トイレット(原紙) 生産能力 : 約22,000t/年

2. 中期経営計画2025 取組み

①既存事業の構造転換 (2)グループ関係会社事業の選択と集中による収益力強化

	取組み(2)- I	取組み(2)- II
テーマ	三善製紙 他社商権の譲受	文運堂 文具事業の整理
プラン	・三善製紙(株)における(株)巴川製紙所からの営業権譲受	・(株)文運堂における文具事業の整理の協議を開始
ポイント	・超軽量印刷用紙の需要減少への対応として営業権譲受を行い稼働率アップを図る	・文具事業大手に文運堂の文具事業を譲渡し協業による価値向上を目指し、収益性の改善を図る
備考	営業権譲受数量 : 2,000t/年(超軽量印刷用紙)	文具事業売上実績 : 10億円 (2020年度)

2. 中期経営計画2025 取組み

②森林資源を活用した環境投資・環境ビジネス推進

取組み

- ②-I . nanoforest実用化、高機能CNF研究開発の加速 ※詳細P11-14
- ②-II . 減プラに貢献する中越エコプロダクツ製造工場の早期稼働
- ②-III . 新規木質バイオマス発電の検討 ※詳細P15
 - ・カーボンニュートラル社会の実現への貢献
 - ・森林資源有効活用のための環境投資
- ②-IV . 既存ボイラーの燃料転換による脱石炭の実施
 - ・カーボンニュートラル社会の実現に向け、CO₂排出量の多い石炭からの燃料転換を図る
- ②-V . 新規植林事業の検討
 - ・資源の安定確保のため植林事業を検討し、循環型社会の構築を図る
 - ・南九州地区において、早生樹を主体にバイオマス発電用燃料としての植林を燃料供給業者と共同で実施していく

2. 中期経営計画2025 取組み

②森林資源を活用した環境投資・環境ビジネス推進

取組み②- I	
テーマ	nanoforest実用化、高機能CNF研究開発の加速
プラン	<ul style="list-style-type: none">・nanoforest (CNF) の新たな分野への利用拡大・高機能CNFパイロットプラント建設の推進 (2023年度下期完工予定)
ポイント	<ul style="list-style-type: none">・nanoforest (CNF) の畜産分野への展開・建設予定の高機能CNFパイロットプラントでの新たな用途開発の推進(油脂、化粧品、農業など)

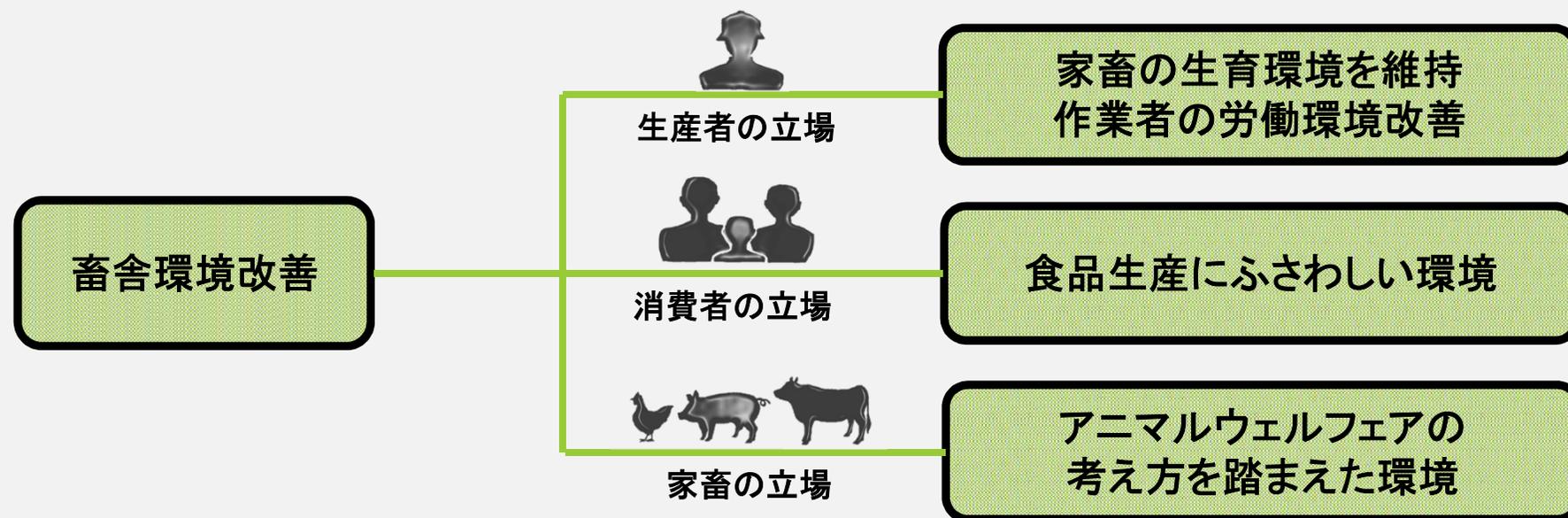
2. 中期経営計画2025 取組み

② 森林資源を活用した環境投資・環境ビジネス推進

畜舎用環境改善資材としてnanoforest(CNF)の展開

畜舎とは家畜の居住空間であり、この環境の良し悪しは、生産性を左右するだけでなく疫病や負傷の原因ともなります。畜舎は、環境性、作業性、経済性、安全性及び社会性の諸要件を満たす必要があります。

この課題解決に有効な手段のひとつとして、“nanoforest”を提供していきます。



2. 中期経営計画2025 取組み

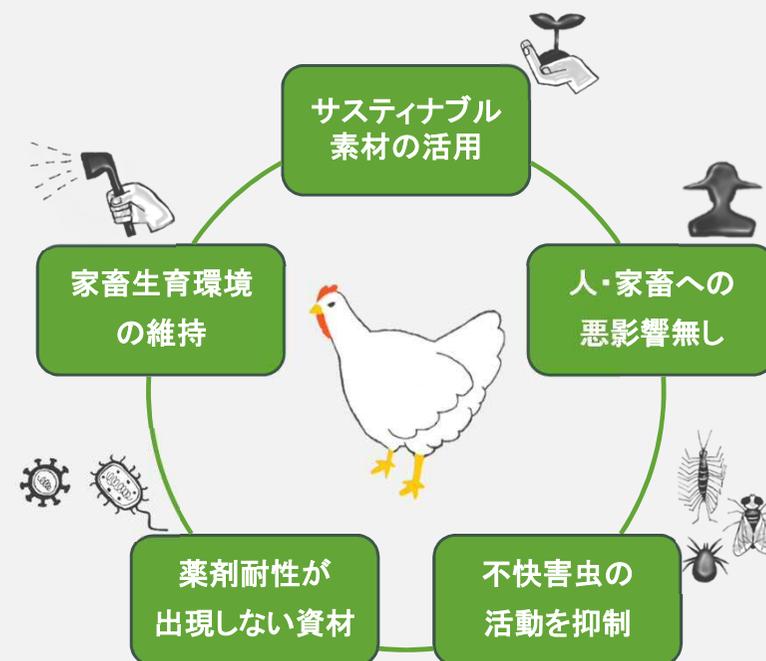
②森林資源を活用した環境投資・環境ビジネス推進

畜舎用環境改善資材として、鶏舎への“nanoforest(CNF)” 利用

2021年11月から、“nanoforest-S” を養鶏分野に展開します。
昨年よりテストを重ねてきましたが、今回『鶏舎用環境改善資材』としての販売を開始し、丸紅(株)殿と協力して養鶏農場への普及を目指していきます。

<鶏舎でnanoforest (CNF) を散布するメリット>

- ①nanoforestの持つ乾燥収縮作用により
埃・塵・羽根が集塊し、飛散しにくくなる
⇒**清掃等が容易になり家畜の生育環境が維持される**
- ②成分はサステイナブルな植物繊維と水のみ
⇒**人間や家畜、および周辺環境に悪影響を及ぼさない**
- ③微細化植物繊維のネットワークによって不快害虫も物理的に固定化されるものであり、薬剤成分等による殺虫ではない
⇒**薬剤耐性とは無縁**



2. 中期経営計画2025 取組み

②森林資源を活用した環境投資・環境ビジネス推進

高機能CNFパイロットプラント建設

従来から製造販売している

- ・nanoforest-S(水分散) CNFのスラリー品
- ・nanoforest-PDP(粉体) 樹脂へのCNF分散性を改善したもの
- ・nanoforest-MB(ペレット) CNFをPP樹脂に30%分散させたもの

の3タイプに加えて、次の3種を製造するため「高機能CNFパイロットプラント」を建設します。

nanoforest-S (高解繊CNF)

従来品よりも解繊を進め、より高機能性製品への適応性を向上させたCNF



スラリー品

nanoforest-M (疎水化CNF)

通常では混ざり難い有機溶剤やオイルなどへの分散性を向上させたCNF



化粧品用オイルに分散した状態のnanoforest-M

nanoforest-CMB (CNF成形体)

「nanoforest-S」を脱水乾燥させた軽量高強度な固形状の成形体



CNF100%成形体

2023年度下期中のプラント完成を目指して進めています。2022年春からの設備検証テスト開始と同時に高機能CNFのサンプル販売を拡充し、幅広い分野への利用拡大を図っていきます。

2. 中期経営計画2025 取組み

②森林資源を活用した環境投資・環境ビジネス推進

取組み②-Ⅱ	
テーマ	減プラに貢献する中越エコプロダクツ製造工場の早期稼働
プラン	中越エコプロダクツ設備稼働後の安定生産と用途拡張 (2022年春設備稼働予定)
ポイント	<ul style="list-style-type: none">・プラスチック代替素材として減プラへの貢献・ライフサイクルにおけるCO₂削減効果
備考	生産能力 : 12,000t/年



2. 中期経営計画2025 取組み

スケジュール

		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
① 既存事業の構造転換	(1)-I 6号マシン停機	生産集約		6号マシン停機		
	(1)-II 家庭紙マシン新設(検討)	検討	設置	稼働予定		
	(1)-III 事業領域拡大	新規利用の拡大		パルプ増産 販売強化		
	(2) 関係会社収益力強化	営業権譲受開始・文具事業整理協議開始				
② 森林資源を活用した環境投資・環境ビジネス推進	I CNF実用化・開発加速	nanoforestの新たな分野への利用拡大			高機能CNFパイロットプラント稼働	
	II 中越エコプロダクツ	中越エコプロダクツ製造設備稼働				
	III 木質バイオマス発電(検討)	検討	設置	稼働予定		
	IV 既存ボイラー脱石炭	検討・計画				
	V 植林事業(検討)	検討・計画				



3. 投資計画及びキャッシュフロー

期間：2021～2025年度

●投資計画

既存事業強化投資	90億円
環境投資	120億円
戦略投資	210億円
維持更新投資	200億円
投資合計	410億円

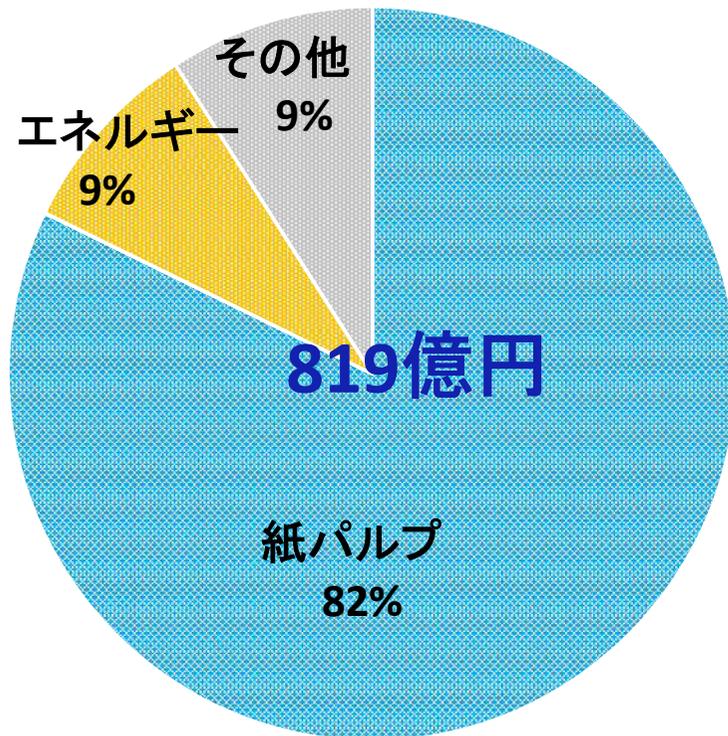
●キャッシュフロー

減価償却費	320億円
税引前利益	135億円
配当金支払	▲30億円
税他	▲15億円
営業CF	410億円
投資活動によるCF	▲410億円



4. 事業ポートフォリオ・収益計画

売上高構成



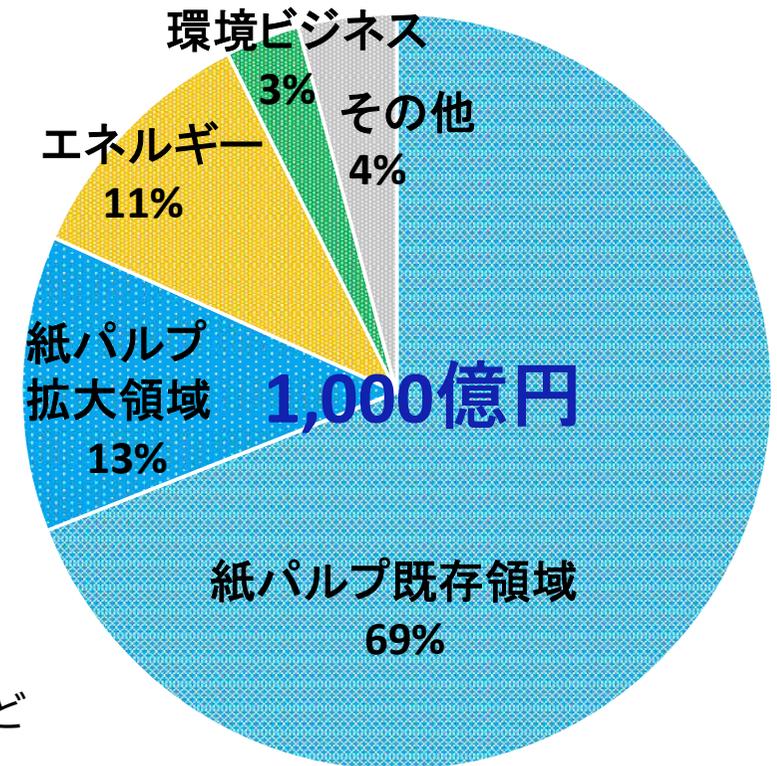
2020年度実績

「環境ビジネス」 ↑
 CNF
 中越エコプロダクツ事業

「エネルギー」 ↑
 バイオマス発電（検討）

「紙パルプ」
 拡大領域 ↑
 家庭紙・パルプ
 新規利用・開発 など

既存領域 ↓
 グラフィック用紙 など



2025年度見通し



4. 事業ポートフォリオ・収益計画

営業利益計画

